

れいわ ねんど
令和6年度
がっこうじゅんかいこうえん
学校巡回公演

よろず きょう げん
萬 狂 言

きょうげんかんしやうきやうしつ きょうげん おもしろ
＜狂言鑑賞教室～狂言って面白い！＞



がっこうじゅんかいこうえん
「学校巡回公演」

ぜんこく しょうがっこう ちゆうがっこうとう ぶん かげいじゆつだんたい じゅんかいこうえん おこな つう しょうらい にな
全国の小学校・中学校等においてトップレベルの文化芸術団体による巡回公演を行うことを通じて、将来を担
うすべての子供たちの豊かな感性を育む場を作り、芸術鑑賞能力の向上を図るとともに、文化的な地域格差の
かいしょう そくしん もくてき
解消を促進することを目的としています。

こども じつえんしどうまた かんしやうしどう おこな じつえん こども さんか
ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演においては、子供たちが参加
できる工夫を行います。



ぶたい いげいじゆつとうそうごうし えん じぎやう がっこうじゅんかいこうえん
舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）
どくりつぎやうせいほうじんにほんげいじゆつぶんかしんこうかい
独立行政法人日本芸術文化振興会

番組

解説

狂言小舞「兔」

代表児童・生徒と狂言師の共演

語「奈須与市語」の一部

狂言「柿山伏」

登場人物 山伏

柿の木の持ち主

狂言「附子」

登場人物 太郎冠者

次郎冠者

主人

質問コーナー



「柿山伏（かきやまぶし）」

山での修行を終えた山伏（特別な力をもったお坊さん）は、帰る途中でのどがかわいてしまい、近くに柿の木があるのを見つけると、木に登り柿の実を盗んで食べてしまいます。そこへ柿の木の持ち主が現れたため、山伏は見つからないように急いで木のかげにかくれますが、大きな体がかくれるはずがありません。柿の木の持ち主はそんな山伏をからかってみることにして……。

「附子（ぶす）」

主人に留守番をたのまれた召使いの太郎冠者と次郎冠者はじめはおとなしくしていましたが、猛毒でそちらから吹く風に当たっただけでも死んでしまうから近づくな、と言って主人が置いた「附子」が気になって仕方ありません。二人で協力してふたを開けてみると、中に入っていたのは黒いかたまり。引きとめる次郎冠者の声も聞かずに、太郎冠者が一口食べてみると……。

◆狂言の豆知識◆ 小道具について

ほとんど登場人物の台詞や動きだけでお話がすすむ狂言ですが、いくつかの小道具が使われることもあります。



●扇(おうぎ)

狂言で使う小道具の中でも、色々なものに見立てて使われるのが扇です。あおいだり、のこぎりとして木を切ったり、刀などの武器にもなります。



●葛桶(かずらおけ)

狂言ではよく使われる道具で、黒い桶にふたが付いています。そのままイスのように腰をかけた後、ふたを盃に見立ててお酒を飲む道具としても使います。

団体紹介

よろずきょうげん 萬狂言

萬狂言とは、狂言方きやうげんかた和泉流わいずみりゆう 野村万蔵家のむらまんぞうけい一門の呼び名で、約300年の歴史と伝統を受け継ぎ、その昔は北陸の加賀前田藩のお抱えでもありました。

現在の当主(代表のこと) 九世野村万蔵を中心に、東京・北陸・関西・九州を拠点として、公演活動や狂言の稽古場の開設、全国の小中学校での鑑賞会やワークショップなどを行っています。

萬狂言ホームページ <https://yorozukyogen.jp>

知ってますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。